

おおとりちゅうがっこうだよ

大鳥中学校便り 第三号

学校教育目標 ~豊かな心を育み、社会とのかかわりを大切に~ ○感じる心(徳) ○考える力(知・体) ○行動する鳥中生(公・闸) 横浜市立大鳥中学校 たんじょう からこう なんじょう ひろしん 佐藤 新庄 広



たいいくたいかいじっこういいんちょう ねん くれ よしざれ けい 体育大会実行委員長 3年1組 吉沢 慧さん

僕は最初、ちゃんと体育大会が成功させられるか不覚でした。しかし、登校生徒の皆さんや先生方の 支えのおかげで無事成功させることができました。当日、皆さんが自分たちのチームを登分で応援していたり、競技を楽しんだりしている姿を見て、僕も嬉しくなりました。僕にとって中学校最後の体育大会は最高の思い出になりました。一緒に盛り上がってくれた皆さん、本当にありがとうございました。

了体育大会 各種種目結果 **了**

	1 年生	2 年生	3 年生
、* to * to *** ** 学年種目	2 組	2 組	1 組
************************************	2 組	1 袓	2 袓
大縄跳び	1・2組	1 組	1 組
学年別優勝	2 組	1 袓	1 縋

色別綱引き 3組	色別総合優勝	2 ء
----------	--------	-----



☆6月に行われた行事から爲

〇生徒会委員と校長先生とのランチミーティング

生徒会長 3年1組 小關 和葉さん

まずは、去年に引き続き、貴重なお屋の時間を僕たちとのミーティングにとってくださった校長先生に感謝です。そして僕たちが提案したことを否定せず、実行に向けてどうすればいいかを一緒に考えてくださいました。生徒の皆さんに良い報告ができそうで嬉しいです。



○生徒総会 * 大切な役割をやって感じたことを教えてください。



議長団 3年3組 嘉山 一絆さん

1・2年生の時に仕切っていた先輩方に、ずっとあこがれを持っていたので、この役割になれてとても嬉しかったです。実際にやってみて、意見がたくさん出たので、みんな真剣に考えられていていいと思いました。とても緊張したけれど、いい体験ができたと思いました。

生徒会会計 3年3組 佐藤 アユミさん

生徒総会のリハーサルでかんでしまったり、値段を読み間違えたり、本番はもっと繁張するのにちゃんと言えるのかなと不安もありましたが、本番では大きい声でハッキリ言えたので、首分としてはうまくいったと思います!これからの生徒会活動も精一杯頑張っていきたいです。



〇リソースルーム(旧特別支援教室)の利用と 国際理解教室の開設について

本校では、すべての学級に在籍する生徒に対して値別の支援活動を展開しております。支援のためのリソースルームを活用し、一人ひとりの値性に合わせた値別の支援体制をさらに充実させてまいります。また、今年度より、国際教室を開設し、日本語支援が必要な児童生徒の学校生活への早期適応や日本語能力の向上を促進いたします。

<リソースルームの説前>

- 〇特に支援していきたいお子様の具体的な姿
 - ・ 落ち着いて着える場があるとできるのに、木漬煮な誤りが多く、学習が定着していかない。
 - 数学や国語において、現学年と2年以上の開きがあり学習内容が定着していかない。
 - 話はよくできるのに、簡単な文章が書けない。
 - 話を聴いているように見えるのに、いざやろうとすると行動がとれない。
 - 急な予定変更があると、うまく対応できない。

などが考えられます。

- 〇リソースルームや支援を展開するにあたって具体的な支援の方法
 - ① 「リソースルーム」への校内通級による支援
 - ② 学級内に入り込んで IT (チームティーチング) による支援
 - ③ お子様の状況に応じて短期間の支援
 - 4 教科担当や担任の配慮による学級支援

などを考えております。

<国際教室の説明>

〇国際教室の概要

様々な実図から日本語での指導に対する「困り感」をもち、自分が在籍する学級で授業を受けることが難しい児童・生徒を対象とし、 以下のことを自的とした支援を行います。

- ① 対象生徒の日本語指導に対する「困り感」の解消のため、愛心して学習支援を受けられる「環境」を提供する。
- ②対象生徒が最終的に在籍学級で学べることを自指し、そのための段階的支援を行う「場」とする。
- ○国際教室を展開するにあたって具体的な支援の方法
 - ① 「国際教室」への校内通級による支援
 - ② 学級内に入り込んで IT (チームティーチング) による支援
 - ③ 教科担当や担任の配慮による学級支援 などを考えております。

まずは、生徒に配布した削込書を提出してください。その後、希望生徒、保護者、担任で相談させていただきます。個々の支援方法については担任、特別支援コーディネーター、養護教諭、生徒指導事任、スクールカウンセラー、国際教室担当など大鳥中の組織の力を活用していき、支援方法を決定いたします。決定した支援方法は担任より連絡いたします。また支援方法の見直しについても適宜行っていく予定です。

常朝な気などございましたら、いつでも趙侯もしくは各趙当までご連絡ください。

